

■ 設計・施工時の注意

- 本製品はせつこうボード壁と天井の取り合い部（入隅部）専用の製品です。それ以外の箇所には使用できません。
- 壁紙仕上げ以外の壁（塗り壁など）には使用できません。
- 本製品は、せつこうボードや、せつこうボード上の壁紙に固定する「接着・釘 施工（木下地）」または「接着・ビス 施工（軽量鉄骨下地）」となります。施工の際は必ず指定接着剤を使用し、釘はピンネイル（長さ30～35mm程度）を、ビスは軽鉄用ビス（ラッパまたはフレキΦ3.5×長さ32～41mm程度）を使用ください。
- 製品の構成上、フタが開いた状態では長手方向に少々曲がっており、フタを閉めると（施工後は）直線になるように設定しています。
- ボードの表面紙や壁紙に、はがれ、浮き、汚れ、ほこり等がある場合は必ず除去してください。
また壁紙に、よじれ（しわ）による段差がある場合も必ず除去してください。製品ズレや接着不良の原因となります。
- 保管の際は、直射日光を避けて平らな場所に平置きしてください。立て掛けると製品が変形するおそれがあります。

■ 必要工具・部材 ※接着剤は指定品をご使用ください。それ以外は現地調達ください。

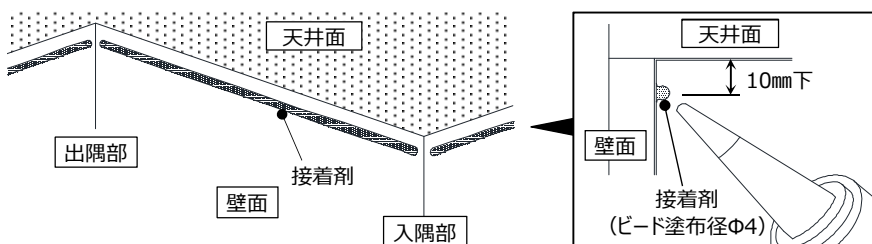
【工具】のこぎり、シーリングガン（接着剤塗布用）、エアコンプレッサー、仕上げ釘打ち機または電動ドリル

【部材】指定接着剤（※接着剤1本333mlあたり約13本分（製品2m）が目安）、
ピンネイル（長さ30～35mm程度）、軽鉄ビス（ラッパまたはフレキΦ3.5×長さ32～41mm程度）

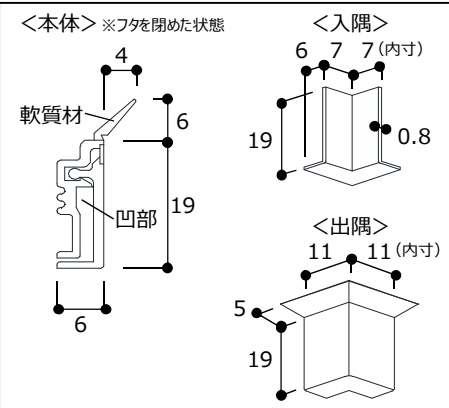
■ 施工手順

1. 壁面への接着剤塗布（※接着剤は必ず指定品を使用してください）

- 天井面から10mm下の壁面に、ビード状に接着剤を塗布する。（塗布径Φ4）
※約5～10分で硬化し始めます。あまり一度に塗布せず、
4m程度（製品2本分）づつ塗布して、2.の製品固定に移ってください。



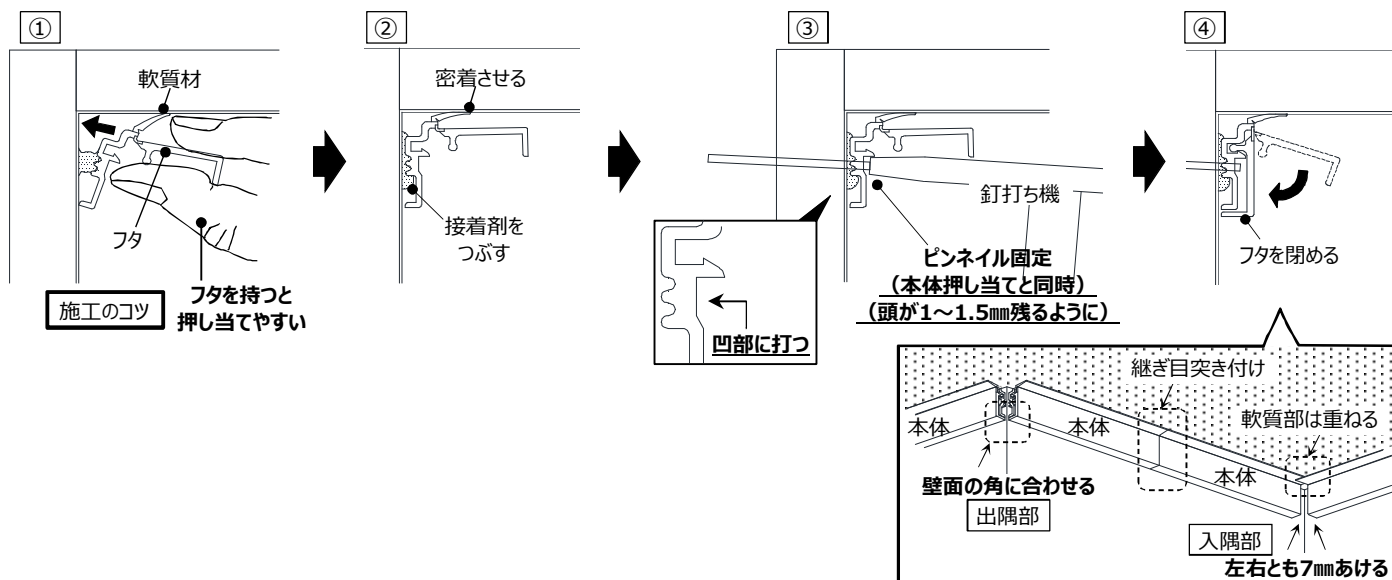
● 製品図



2. 本体の固定（※本体はフタが開いた状態で梱包されています）

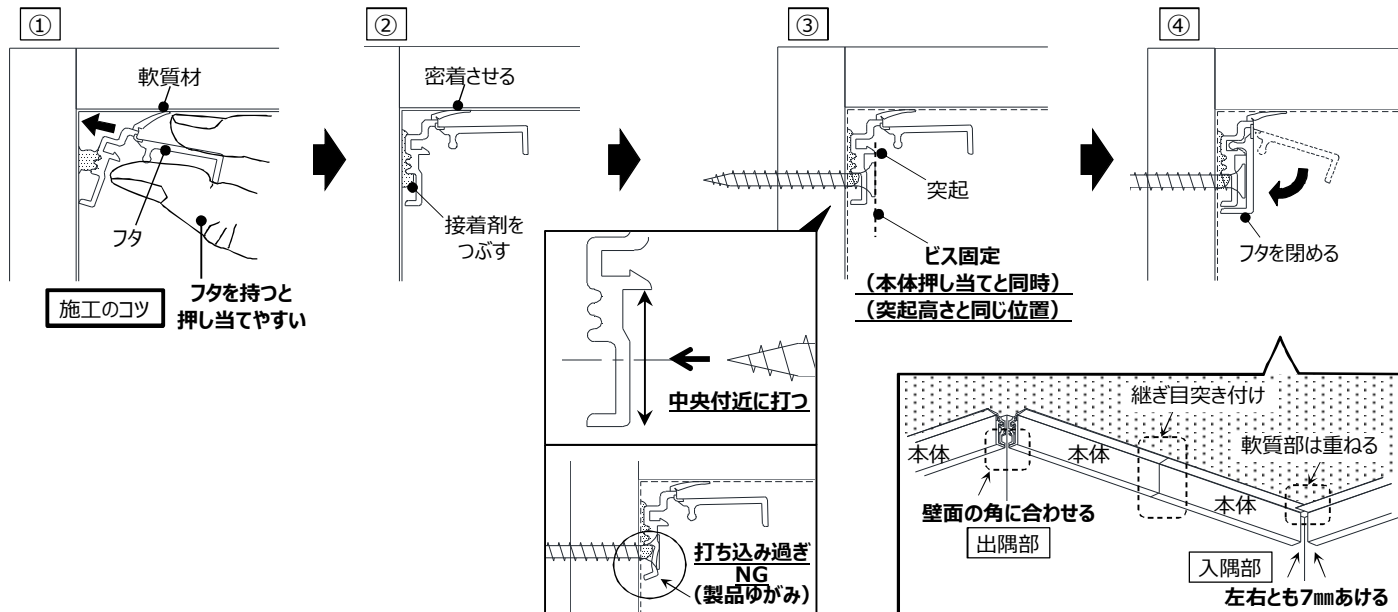
ピンネイルで固定する場合

- 本体の軟質材を天井面に密着させながら、接着剤をつぶすように壁面に押し当てる。（図①②）
- 押し当てと同時に、釘打ち機で釘固定し圧着する。本体端部からもう一方の端部に向かって、徐々に押し当てながら固定していく。（図③）
※コンプレッサーの空気圧は約0.4MPa（4Kgf/cm²）に調整し、ピンネイルの頭が釘打ち面から1～1.5mm残るようにしてください。
下地の硬さによって空気圧の微調整が必要な場合があります。事前に仮打ちして、割れないことや釘頭が残ることを確認してください。
※釘はピンネイル（長さ30～35mm）を使用し、約300mmピッチで固定（端部は10mmの位置も固定）してください。
割れることがあるためフィニッシュネイルは使用しないでください。
- 釘打ち固定後、フタを嵌合して閉める。（図④）



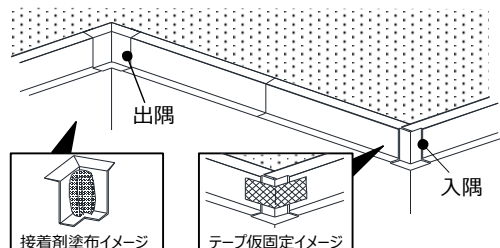
軽量鉄骨ビスで固定する場合

- 本体の軟質材を天井面に密着させながら、接着剤をつぶすように壁面に押し当てる。(図①②)
- 押し当てと同時に、電動ドリルでビス固定し圧着する。本体端部からもう一方の端部に向かって、徐々に押し当てながら固定していく(図③)
※本体の突起高さと同じ位置にるようにビス頭の位置を調節してください。ビスの打ち込み過ぎに注意してください。
※ビスは軽量鉄骨用ビス(ラッパまたはフレキΦ3.5×長さ32~41mm程度)を使用し、約300mmピッチで固定(端部は10mmの位置も固定)してください。
- ビス打ち固定後、フタを嵌合して閉める。(図④)



3. 入隅・出隅の固定

- 入隅や出隅の裏面に接着剤を適量塗布して本体に圧着し、マスキングテープで仮固定する。硬化後、マスキングテープをはがす。



●参考納まり図

